DocNo. PTD-OP-10006-0

PINETEC

認証機能付き
アルコールチェッカー　トライアルキット
PALC-KIT　Ver.1.1
取扱説明書

2010/08/09　　第七版

目　次

はじめにお読みください 4
本製品のご使用にあたって 4
１．製品について 5
１．１　特　徴 5
１．２　機　能 5
１．３　製品構成 6
１．４　製品仕様 7
１．５　使用環境 7
２．ご使用前の準備 8
２．１　機器の接続 8
２．１．１　PALC-KIT の接続 8
２．１．２　印刷機器の接続 8
２．１．３　機器の取り外し 8
２．２　ソフトウェアのインストール 9
２．２．１　PALC-KIT 専用ソフトウェアのインストール 9
２．２．２　Virtual COM Port Driver のインストール 11
２．２．３　PALC-KIT 専用ソフトウェアのアンインストール 12
２．２．４　ソフトウェアの再インストール（アップグレード） 12
２．３　ユーザーの登録 13
３．起動と終了 13
３．１　起動方法 13
３．１．１　メニューからの起動 13
３．１．２　ショートカットからの起動 13
３．２　終了方法 14
４．画面説明 15
４．１　アルコール濃度測定画面 15
４．２　ＣＳＶ外部出力画面 16
４．３　ユーザーマスタ登録画面 16
５．アルコール濃度の測定 17
５．１　処理の流れ 17
５．２　アルコール濃度の測定手順 18
５．２．１　個人認証と測定モードへの移行 18
５．２．２　アルコールセンサー準備（キャリブレーション） 19
５．２．３　アルコール濃度の測定 21
５．２．４　測定結果の確認と記録 21
６．ユーザー登録 24
６．１　新規登録 24
６．２　編　集 25

６．３　削　除 25
７．外部出力 26
７．１　CSV 外部出力方法 26
７．２　Microsoft EXCEL による閲覧 27
８．勤怠モード 28
９．メンテナンス 29
９．１　データのバックアップ 29
１０．こんなときは　（トラブルシューティング） 30

はじめにお読みください

このたびは、アルコールチェッカートライアルキット PALC-KIT をご採用いただき、まことにありがとうございます。本書は PALC-KIT を正しくご利用いただくための操作方法ならびに注意事項等について記載しております。誤った操作や適切でない運用を行った場合は重大な事態を引き起こす可能性があります。ご利用前に本書をご一読いただき、製品に関する正しい知識を身につけてご活用いただきますようお願い致します。

本書は、本書作成時のハードウェアおよびソフトウェアの情報※をもとに作成されています。ソフトウェアのバージョンアップ等により記載内容とソフトウェアの機能や名称が異なる場合があります。また、本書の内容は予告なく変更することがあります。

本製品のご使用にあたって

警　告

本製品は、飲酒運転の可否を判断するためのものではありません。本製品の測定結果のみで運転の可否を判断しないで下さい。
本製品は、飲酒の状態を一定の条件に基づいて判定しており、あくまでも飲酒状態の一判断材料として自主管理用にご利用下さい。したがって、本製品の製造者ならびに販売者は、本製品の使用を動機とするアルコール影響下の交通事故や飲酒運転による過失について、一切の責任を負いません。

注　意

- 本製品は、半導体式ガスセンサーを使用していますので、アルコール以外のガス等にも反応する場合がありますが、アルコール濃度が検出された場合は口をすすいで再度測定を行って下さい。

- タバコの煙、殺虫剤、化粧品、シンナー、ペンキ等の可燃性の溶剤や塗料などの近くでは使用しないようにして下さい。

- 測定場所の周りがアルコールの雰囲気では使用しないで下さい。精度や感度が低下し、正しい測定結果が得られない場合があります。

※　本取扱説明書で記述している専用ソフトの対象バージョンは、Ver.1.1.3.29 です。

１．製品について

１．１　特　徴

（１）お手軽導入

既存のパソコンに接続するだけで個人認証機能を備えたアルコール検知システムが簡単に実現できます。

（２）簡単操作

ID カードをかざして（認証と測定準備）、息を吹きかけ（測定）、ID カードを外す（記録）の３ステップで測定が完了します。通常操作においてキーボード入力は不要です。

（３）ハイコストパフォーマンス

個人認証・測定経過グラフ表示・測定結果記録・外部出力・印刷など、標準で高機能を備えています。弊社点呼管理システム PT-1000 との連携が可能で、PALC-KIT への投資が無駄になりません。

１．２　機　能

（１）アルコール濃度の検知

呼気中のアルコール濃度を検知し、結果をパソコンに記録します。

（２）ＩＤカードによる認証

ＲＦＩＤ付き社員証や FeliCa カードなどにより被測定者の認証を行います。個人認証とアルコール濃度の検知を同時に行うことにより検知結果の改竄防止につながります。

（３）外部出力

アルコール濃度の検知結果をＣＳＶ形式で出力することができます。

図 1.1　機器の運用イメージ

１．３　製品構成

本製品は次の内容物より構成されています。

①アルコールセンサー部
②ＲＦＩＤセンサー部
③ＲＦＩＤカード
④ＵＳＢインターフェース
⑤専用ソフトウェアインストール CD-ROM
⑥取扱説明書（⑤CD-ROM 中に記録）

図 1.2　製品構成

本製品は、お手持ちのパソコンと接続することにより、アルコール濃度の測定および測定結果の保存を行うことができるようになります。

図 1.3　製品接続使用例

１．４　製品仕様

品名・型式	アルコールチェッカ　PALC-KIT
使用環境条件	常温常湿環境（15～25℃、85%RH）

【アルコールセンサー】

センサータイプ	硫黄化合物ガス検知半導体素子
測定範囲	0.0　～　0.5 mg/ℓ
分解能	0.04 mg/ℓ

【RFID】

規格	ISO/IEC15693 準拠（非接触近傍型）
キャリア周波数	13.56MHz
変調方式	ASK 変調　100%/10%
符号化方式	Pulse Position 方式
データ転送レート	～26kbps
衝突防止（アンチコリジョン）	対応
交信距離	0～30mm（周囲に磁性体がないこと）

【ソフトウェア】

画面表示件数	500 件
データ登録件数	ハードディスク容量による
登録ユーザー数	ハードディスク容量による

※本製品の仕様は、性能向上のため予告なしに変更することがあります。

１．５　使用環境

本製品を利用するためには次の要件を満たすパーソナルコンピューターが必要になります。

【ハードウェア】

①USB2.0 インターフェース

②SVGA（800×600）以上の解像度をもつ表示装置

③マウス等のポインティングデバイス

【ソフトウェア】

①オペレーティングシステム（OS）　Microsoft Windows XP / Vista / 7

②Microsoft EXCEL 等の表計算ソフトウェア

※Microsoft Windows XP / Windows Vista / Windows 7 は Microsoft Corp.の登録商標です。

※Microsoft EXCEL は Microsoft Corp.の登録商標です。

２．ご使用前の準備

２．１　機器の接続

２．１．１　PALC-KIT の接続

PALC-KIT を使用する場合にはパソコンとの接続が必要になります。パソコンとの接続は PALC-KIT の USB ケーブルをパソコンの USB 端子に接続するだけで完了します。(図 2.1) 初めて PALC-KIT ご利用になる場合には、USB 機器のドライバーソフトウェアのインストールを促すメッセージが表示されます。詳細については 2.2.2　Virtual COM Port Driver のインストールを参照して下さい。

図 2.1　パソコン USB 端子への接続

測定を行う 10 分前には PALC-KIT をパソコンに接続し、専用ソフトウェアを起動してセンサーのウォームアップ（暖気）を行って下さい。さらに、実際の測定を行う前に、２、３回テスト測定を行うと安定した測定が行えます。

２．１．２　印刷機器の接続

PALC-KIT 専用ソフトウェアは、測定毎に結果を印刷することができます。印刷は OS 上の「通常使うプリンタ」に設定されたプリンターに出力されます。パソコンと印刷機器との接続方法については各印刷機器の取扱説明書を参照して下さい。

PALC-KIT 専用ソフトウェアでは、測定結果を他の書類に記録として残す場合を想定し、出力の書式を KING JIM テプラ PRO SR3500P 等の PC ラベルプリンタ用（テープ幅 18mm/24mm）に設定してあります。PC ラベルプリンタをご利用したい場合には、お客様でご用意いただくか、販売店にご相談下さい。

２．１．３　機器の取り外し

PALC-KIT をパソコンから取り外す場合には、必ず専用ソフトウェアを終了させてからパソコンの USB 端子より PALC-KIT のケーブルを抜きます。

印刷機器等の外部入出力装置の取り外しについては、各機器の取扱説明書等を参照して下さい。

２．２　ソフトウェアのインストール

PALC-KITを使用するためにはPALC-KITを接続したパソコンに次の２つのソフトウェアをインストールする必要があります。以下に各ソフトウェアのインストール手順を示します。

・PALC-KIT 専用ソフトウェア
・Silicon Labs 社　Virtual COM Port (VCP) Driver

※本書では例として WindowsVista の画面を使用しております。他の OS では表示が異なる場合があります。

２．２．１　PALC-KIT 専用ソフトウェアのインストール

図 2.2　ｾｯﾄｱｯﾌﾟ ｳｨｻﾞｰﾄﾞ 画面

①付属の CD-ROM をパソコンにセットすると、自動的にセットアッププログラムが起動します。CD ドライブの自動機能を OFF に設定してある場合や自動起動しない場合には、CD ドライブの setup.exe をダブルクリックし、セットアッププログラムを起動して下さい。

②PALCKIT1.1 セットアップウィザード画面が表示されたら、［次へ]］タンをクリックします。（図 2.2）

図 2.3　ｲﾝｽﾄｰﾙﾌｫﾙﾀﾞ 入力画面

③インストールフォルダの入力を行います。任意のフォルダにインストールしたい場合は、直接インストールフォルダのパスを入力するか、［参照］ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを指定します。さらにインストールの対象となるユーザーを選択後、［次へ］ボタンをクリックします。（図 2.3）

図 2.4　ｲﾝｽﾄｰﾙ確認画面

④インストールの確認画面が表示されるので、［次へ］ボタンをクリックするとインストールが開始されます。（図 2.4）

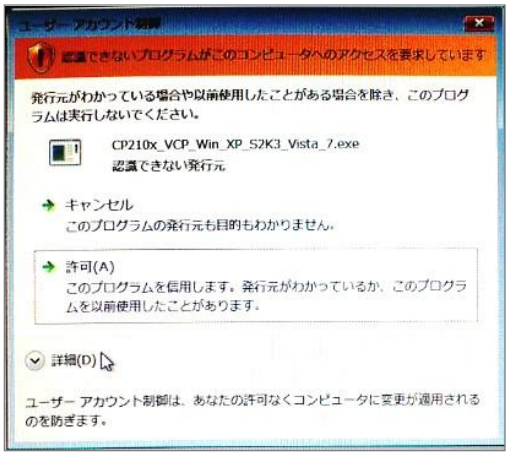


図 2.5　ﾕｰｻﾞｰｱｶｳﾝﾄ制御画面

⑤ユーザーアカウント制御が有効な場合は、図 2.5 の画面が表示されますので「許可」をクリックして下さい。

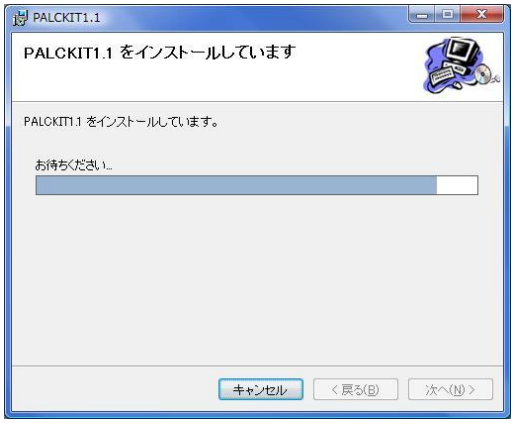


図 2.6　ｲﾝｽﾄｰﾙ進捗画面

⑥インストール実行中は図 2.6 の画面が表示され、進捗状況を表示します。

図 2.7　ｲﾝｽﾄｰﾙ完了画面

⑦インストールが完了すると図 2.7 が表示されます。

２．２．２　Virtual COM Port Driver のインストール

図 2.8　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰｲﾝｽﾄｰﾙﾒｯｾｰｼﾞ

電源の投入されたパソコンに初めて PALC-KIT を接続すると、画面上に図 2.8 のメッセージが表示され、メッセージをクリックすると Virtual COM Port (VCP) Driver のインストールが開始されます。

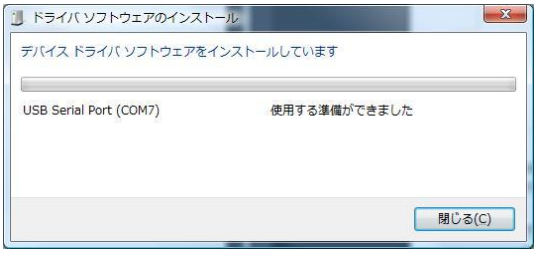


図 2.9　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰｲﾝｽﾄｰﾙ進捗画面

ドライバーのインストール時に適切なドライバーが見つからなかった場合は、専用ソフトウェアインストール CD-ROM を CD または DVD ドライブにセットし、ドライバーの参照場所として CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7 フォルダを指定して下さい。

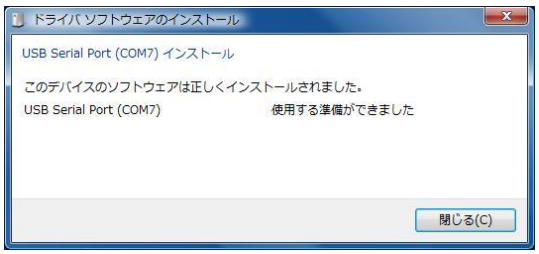


図 2.10　ﾄﾞﾗｲﾊﾞｰｲﾝｽﾄｰﾙ完了画面

※最新の VCP Driver は、以下の Silicon Labs 社サイトよりダウンロードすることが可能です。

http://www.silabs.com/products/mcu/pages/usbtouartbridgevcpdrivers.aspx

２．２．３　PALC-KIT 専用ソフトウェアのアンインストール

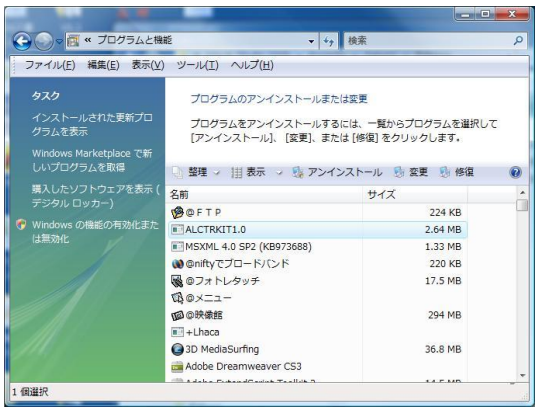


図 2.11　コントロールパネル

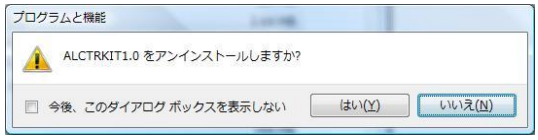


図 2.12　アンインストール確認画面

①OS のスタートメニュー→コントロールパネル→プログラムと機能を起動します。

②プログラムと機能の画面から PALCKIT1.1 をダブルクリックします。（図 2.11）

③アンインストールの確認メッセージで［はい］をクリックします。（図 2.12）

④ユーザーアカウント制御画面が表示され、許可を求められた場合は、[許可]をクリックします。

２．２．４　ソフトウェアの再インストール（アップグレード）

図 2.13　PALC-KIT の修復

図 2.14　PALC-KIT の修復完了

PALC-KIT 専用ソフトウェアのバージョンアップにより、ソフトウェアの再インストールを行う場合には

①新しいバージョンの「setup.exe」を実行します。セットアップが実行されると、「セットアップウィザードへようこそ」画面(図 2.13)が表示されますので、「PALC-KIT1.1 の修復(R)」をチェックし、[完了]ボタンをクリックします。

②[完了]ボタンをクリックすると、アップグレードが実行され、「インストールが完了しました。」画面(図 2.14)が表示されます。

③[閉じる(C)]ボタンをクリックしてアップグレードを終了します。

※再インストールによって既存の設定やデータが上書きされることはありませんが、不測の事態に備えバックアップを励行して下さい。

２．３　ユーザーの登録

PALC-KIT でアルコール検知を行う際には、検知開始およびアルコール濃度測定中に ID カードを利用して被測定者の個人認証を行います。したがってアルコール検知の対象となる被測定者は、予めユーザー登録が完了している必要があります。ユーザー登録の具体的な操作方法については、６．１　新規登録を参照して下さい。

３．起動と終了

３．１　起動方法

３．１．１　メニューからの起動

図 3.1　メニューからの起動

OS のスタート→すべてのプログラム→ PALCKIT 1.0 をクリックし、専用ソフトウェアを起動します。

３．１．２　ショートカットからの起動

図 3.2　ショートカットからの起動

デスクトップ上のショートカットをダブルクリック(図 3.2)して PALC-KIT 専用アプリケーションを起動します。

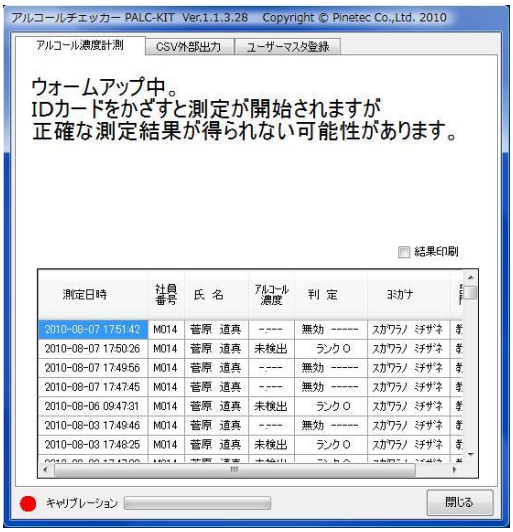


図 3.3　起動直後の表示画面

ソフトウェアが起動するとウォームアップ中の画面（図 3.3）が表示されます。

ウォームアップ中は、画面左下に赤い●印が表示され、アルコールセンサーがまだ測定可能な状態になっていないことを示しています。

この状態で ID カードをかざす事によりウォームアップ状態を終了し、測定へ移行することが可能ですが、測定結果が安定せず、正確な測定を行うことができません。ウォームアップが完了してから測定を行って下さい。

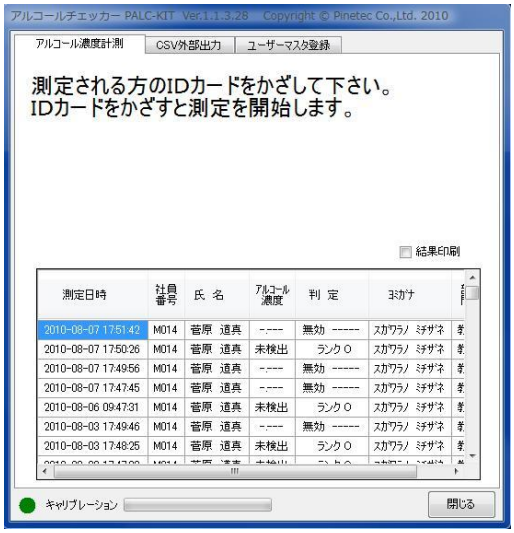


図 3.4　ウォームアップ完了画面

ウォームアップが終了すると画面の左下が緑の●印に変わります。（図 3.4）

ウォームアップ状態の表示は、起動時のみ表示され、測定が開始されると以降は表示されなくなります。

専用ソフトウェア起動時に。『アルコールセンサーの校正期間が過ぎています。センサーの校正をお勧めします。』というメッセージが表示される場合があります。この表示は、アルコールセンサーの寿命を超えて使用している場合。あるいは PALC-KIT のハードウェアが専用ソフトウェアのバージョンに対して古い場合に表示されます。

メッセージが表示されても PALC-KIT をご使用いただけますが、正常な動作や正確な測定は保証致しかねます。このメッセージが表示された場合には、お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。

３．２　終了方法

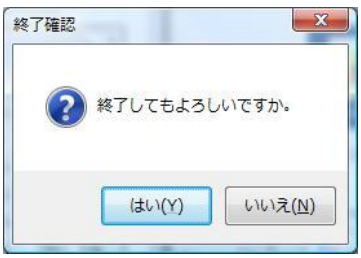


図 3.5　終了確認

ソフトウェアを終了する場合は、画面右下の［閉じる］ボタンをクリックし、終了確認画面で［はい］をクリックすることにより終了します。(図 3.5)

４．画面説明

アルコールチェッカートライアルキットの PALC-KIT 専用ソフトウェアは、アルコール濃度測定画面、ＣＳＶ外部出力画面およびユーザーマスタ登録画面の３つの画面から構成されています。

４．１　アルコール濃度測定画面

専用ソフトウェアのメイン画面です。この画面ではアルコール濃度測定に関して、被測定者に対する指示や測定結果の表示を行います。

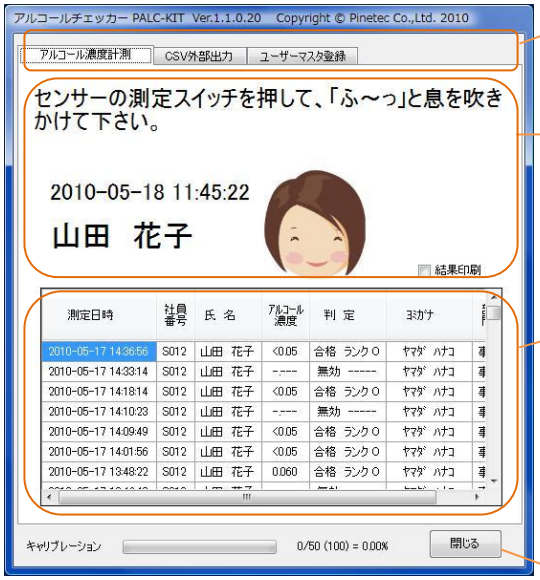

アルコールチェッカー PALC-KIT Ver.1.1.0.20 Copyright © Pinetec Co.,Ltd. 2010
アルコール濃度計測
CSV外部出力
ユーザーマスタ登録
センサーの測定スイッチを押して、「ふ～っ」と息を吹きかけて下さい。
2010-05-18 11:45:22
山田　花子
結果印刷
測定日時
社員番号
氏 名
ｱﾙｺｰﾙ濃度
判 定
ﾖﾐｶﾞﾅ
2010-05-17 14:36:56 S012 山田 花子 <0.05 合格 ランク０ ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 14:33:14 S012 山田 花子 ---- 無効 ----- ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 14:18:14 S012 山田 花子 <0.05 合格 ランク０ ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 14:10:23 S012 山田 花子 ---- 無効 ----- ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 14:09:49 S012 山田 花子 <0.05 合格 ランク０ ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 14:01:56 S012 山田 花子 <0.05 合格 ランク０ ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
2010-05-17 13:48:22 S012 山田 花子 0.060 合格 ランク０ ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ
キャリブレーション
0/50 (100) = 0.00%
閉じる

図 4.1　アルコール濃度測定画面１

画面切り替えタブ
各画面の切り替えを行います。

インフォメーション表示領域
操作指示や個人認証結果および測定結果を表示します。

履歴一覧表示領域
過去の計測結果を 500 件分表示します。
項目名をダブルクリックすることにより並べ替えができます。項目名をドラッグし、表示幅を変更することができます。

ソフトウェア終了ボタン
ソフトウェアを終了します。

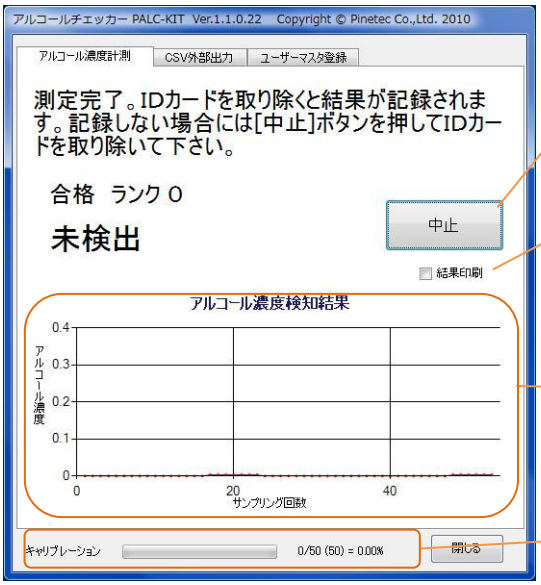


図 4.2　アルコール濃度測定画面２

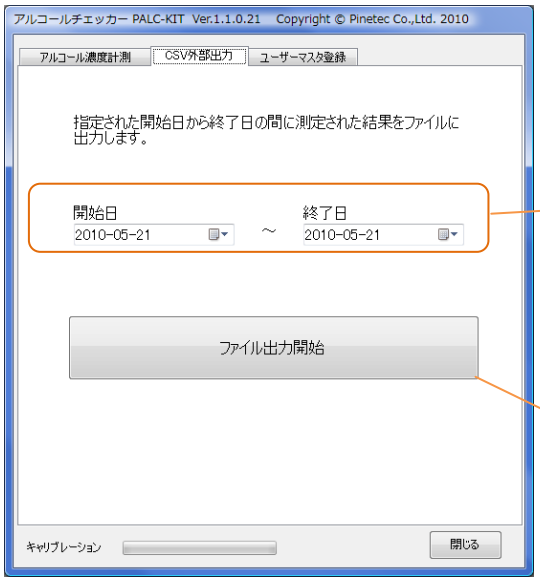
中止ボタン
処理中止の指示を与えます。

結果印刷チェックボックス
測定結果を印刷する場合にチェックを入れます。

グラフ表示領域
リアルタイムに測定値を表示します。

キャリブレーション進捗表示
キャリブレーションの状況を表示します。

４．２　ＣＳＶ外部出力画面



保存された測定結果をＣＳＶファイルへ出力指示する画面です。

出力範囲指定コンボボックス

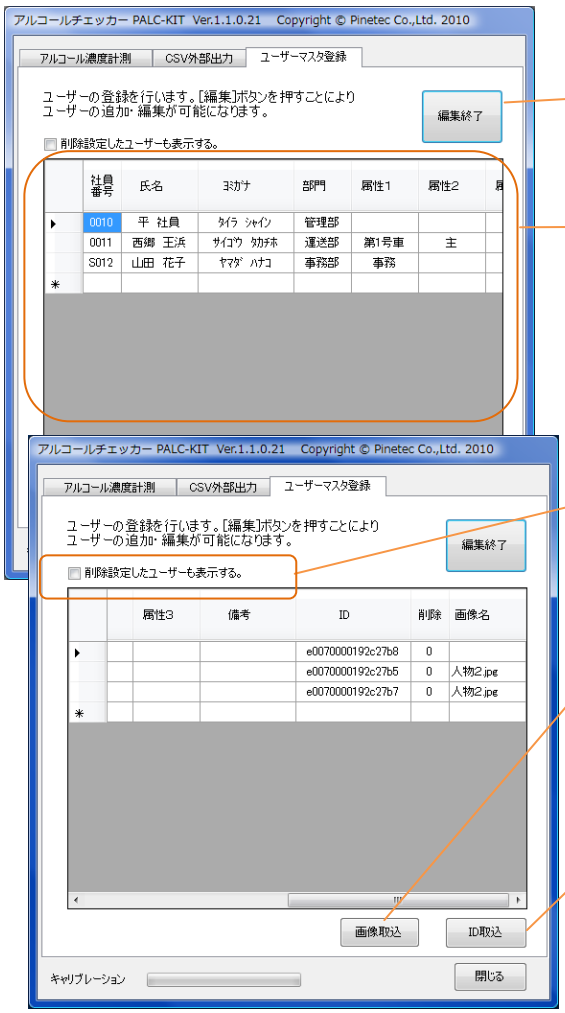
CSV ファイルを出力する日付範囲を開始日と終了日で指定します。

出力開始ボタン

CSV ファイルの出力を実行します。

図 4.3　CSV 外部出力画面

４．３　ユーザーマスタ登録画面



ユーザー（被測定者）の登録、編集を行う画面です。

編集ボタン

編集モード（閲覧／編集）の切り替えを行います。

ユーザー　一覧表示領域

登録されているユーザーの一覧表示および編集領域。項目名をダブルクリックすると並べ替えができます。項目名をドラッグすると列幅を変更することができます。

削除ユーザー表示チェックボックス

チェックすると削除フラグをセットされたユーザーも表示対象とします。

画像取込ボタン

画像ファイルを取り込み、画像名の欄に画像ファイル名をセットします。

ID 取込ボタン

ID カードの ID 値を読み取り、ID 欄に値をセットします。

図 4.4　ユーザーマスタ登録画面

５．アルコール濃度の測定

５．１　処理の流れ

標準的なアルコール濃度測定の操作の流れを示します。

図 5.1　処理の流れ

５．２　アルコール濃度の測定手順

アルコール濃度の測定手順について、各ステップ毎の処理や操作方法についての詳細な説明を行います。測定に際しては予め暖気運転を行って下さい。（2.1 機器の接続を参照）

５．２．１　個人認証と測定モードへの移行

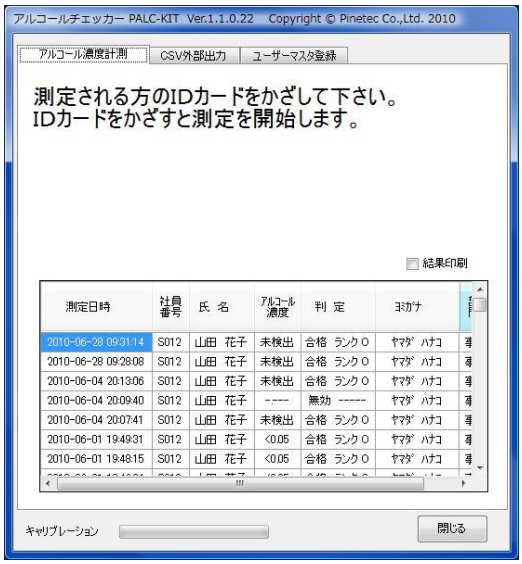


図 5.2　開始画面

アルコール濃度の測定を開始する場合は、被測定者の ID カードを RFID センサー部に置いて下さい。（図 5.2）

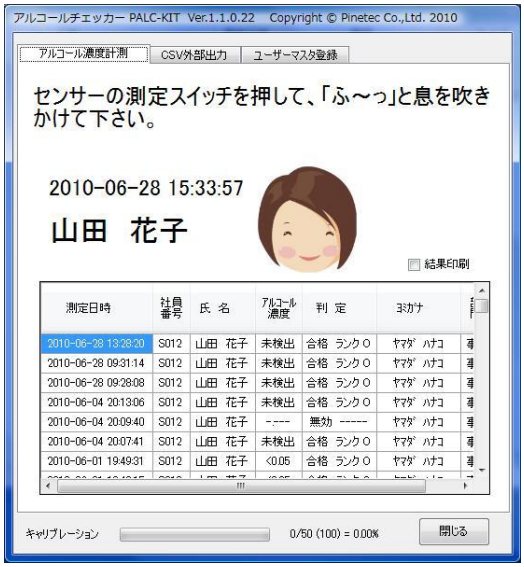


図 5.3　被測定者の認証画面

ID カードの読み取りに成功すると、画面上に読み取り日時と被測定者の氏名および顔写真が表示されます。（顔写真はユーザーマスタに登録されている場合のみ表示されます。）

被測定者が認証されると同時にアルコール濃度の測定モードに移行します。

アルコール濃度測定モードに移行すると、CSV 外部出力画面およびユーザーマスタ登録画面へは移行できなくなります。

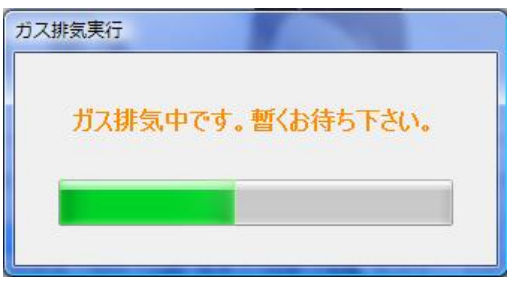


図 5.4　ガス排気実行中画面

アルコール濃度測定モードへの移行の際、前回の測定から一定時間（約 20 秒）経過していない場合は、ガス排気実行中の画面が表示されますので、バー表示が 0 になるまでお待ちください。（図 5.4）

５．２．２　アルコールセンサー準備（キャリブレーション）

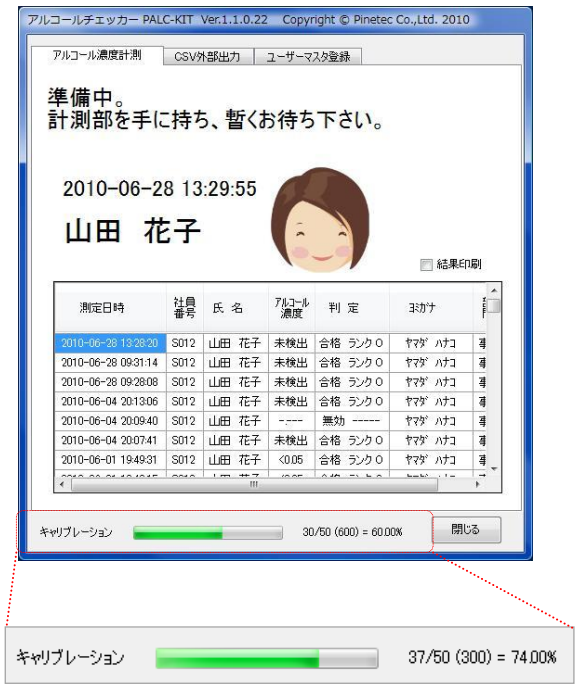


図 5.5　キャリブレーション実行画面

被測定者の認証が完了すると、アルコールセンサーが測定準備（キャリブレーション）の状態になります。(図 5.5)

測定準備の状態になると、キャリブレーション進捗表示領域のバーグラフ表示がフルの状態からカウントダウンを開始していきます。この表示が０になるとアルコール濃度の測定が可能になった状態であることを示しています。

キャリブレーションに要する時間は、直前の測定結果により大きく左右されます。直前の測定で高いアルコール濃度が検知されると、その影響が取り除かれるまで長い時間を要する場合があります。

図 5.6　センサー異常

キャリブレーションが終了しない場合は最終的にアルコールセンサー異常が表示されます。(図 5.6)　この状態は、アルコールセンサーの故障か寿命を示していますので、お買い求めいただいた販売店に連絡して下さい。

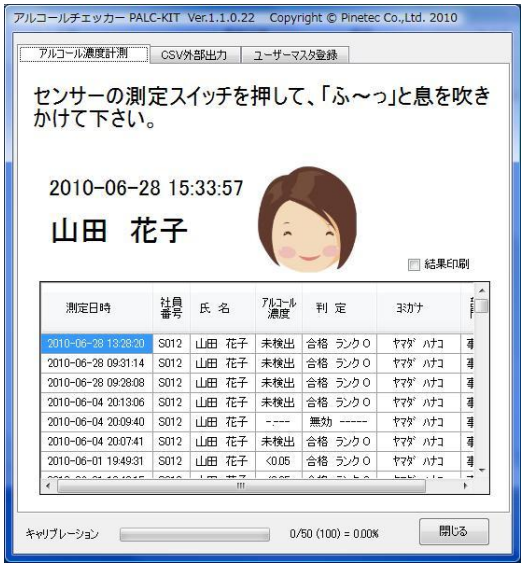


図 5.7　センサー準備完了画面

アルコールセンサーが測定可能な状態なると、画面上のメッセージが『センサーの測定スイッチを押して、「ふ～っ」と息を吹きかけて下さい。』(図 5.7) の状態に変わります。

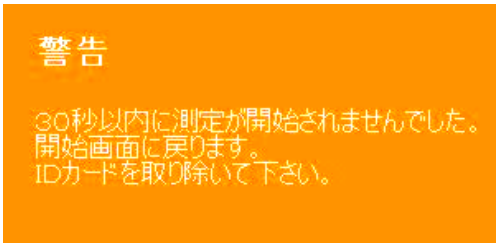


図 5.8　警告画面

アルコールセンサーが測定可能な状態で 30 秒間測定スイッチが押されなかった場合には、警告が表示され（図 5.8）、開始画面に戻ります。

５．２．３　アルコール濃度の測定

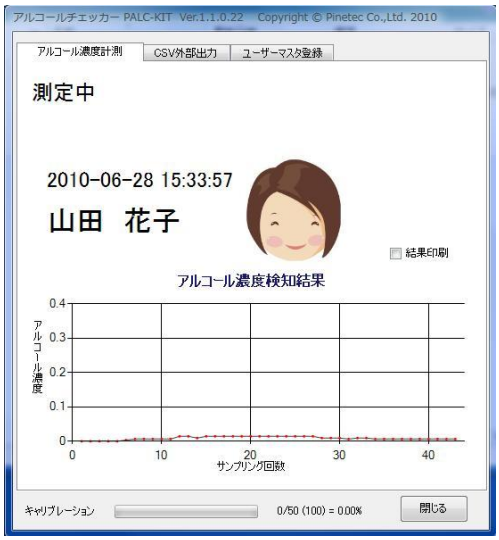


図 5.9　測定中画面

アルコールセンサー部側面の測定スイッチを押すと「ポッ」という測定開始音とともにアルコール濃度の測定が開始されますので、センサー部に向かって約 10 秒間「ふ～っ」と息を吹きかけて下さい。（図 5.9）

測定中は、測定スイッチを押し続けて下さい。測定スイッチを放した状態ではアルコール濃度は測定されません。

５．２．４　測定結果の確認と記録

（1）測定結果を記録する場合

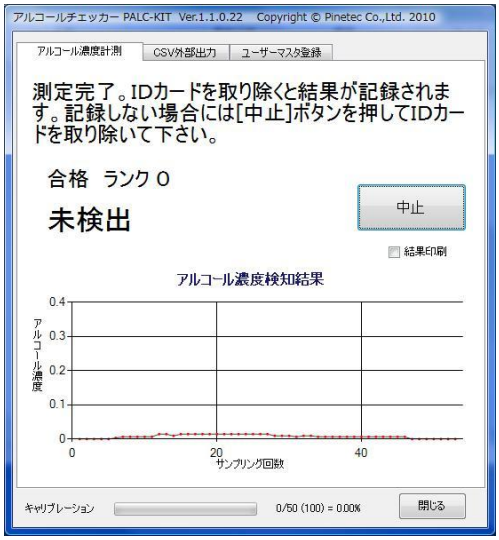


図 5.10　測定完了画面

測定が終了すると、画面上に測定完了が表示され、「ポッ」という測定完了音が鳴ります。（図 5.10）

測定結果を確認し、ID カードを RFID センサー部から取り除くと、測定結果が自動的に記録され、認証待ち画面に切り替わり、次の測定の受け付け待ち状態になります。

ID カードを取り除く際に、結果印刷チェックボックスがチェックされていた場合には、接続されている印刷環境に直前の測定結果が印刷されます。

ランク表示	値範囲	合否表示
無効	0.00	――――――
ランク 0	未検出	合　格
ランク 1	0.10 以上　0.15 未満	要再測定
ランク 2	0.15 以上　0.20 未満	不合格
ランク 3	0.20 以上　0.25 未満	不合格
ランク 4	0.25 以上　0.30 未満	不合格
ランク 5	0.3 以上	不合格

表 5.1　ランク表示

（2）測定結果を記録しない場合

図 5.11　測定完了画面

測定した結果を記録しない場合には、[中止]ボタンを押して下さい。

[中止]ボタンを押すと、画面が切り替わり(図 5.11)「ID カードを取り除いて下さい。」というメッセージが表示されます。ID カードを取り除くと、認証待ち画面に切り替わり、次の測定の受け付け待ち状態になります。

（3）注意事項

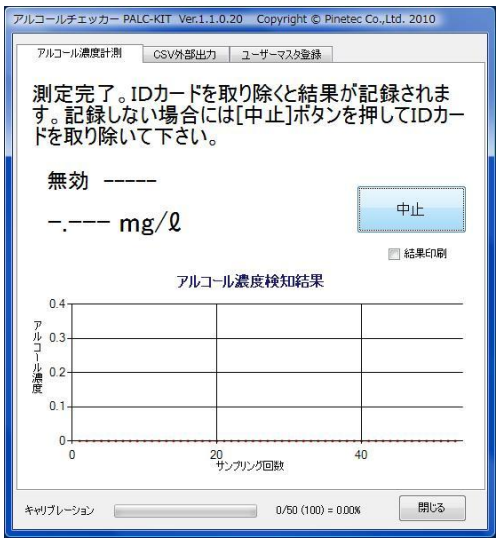


図 5.12　測定無効表示

測定中に息を吹きかけなかった場合や、測定スイッチを放し続けた場合には、その測定結果を無効とします。(図 5.12)

暖気が十分でなかった場合には、正しく息を吹きかけていてもセンサーが正しく反応できずに測定結果が無効になる場合があります。この場合は、２、３度測定を続けることにより正常に反応するようになります。

実際の記録測定に際しては、より確実な結果を得るために２、３回テスト測定されることをお勧め致します。

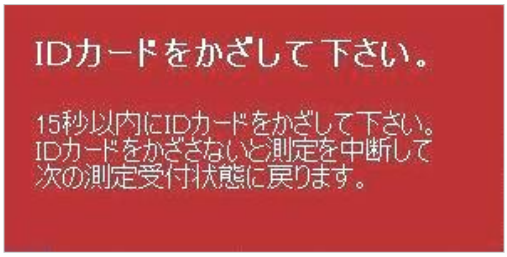


図 5.13　ID カードエラー画面

被測定者の改竄を防止するため、測定中も被測定者の ID カードを RFID センサー部にかざし続けて下さい。

測定中に ID カードが識別できなくなった場合には、メッセージ(図 5.13)を表示し、１５秒後に開始画面に戻ります。

実際に測定を行う場合には、PALC-KIT 専用ソフト以外にウィルスチェックソフトの検索実行やバックアップなどの負荷の高いソフトウェアを同時に起動させないようにして下さい。PALC-KIT の動作が不安定になり、正しく測定できない場合があります。

６．ユーザー登録

PALC-KIT でアルコール検知を行う際には、検知開始およびアルコール濃度測定中に ID カードを利用して被測定者の個人認証を行います。したがってアルコール検知の対象となる被測定者は、予めユーザー登録されている必要があります。

ユーザー登録は、ID カードに登録された固有の ID 番号とユーザーの情報を紐付けし、管理します。以下にユーザーの新規登録、編集および削除の操作方法を説明します。

６．１　新規登録

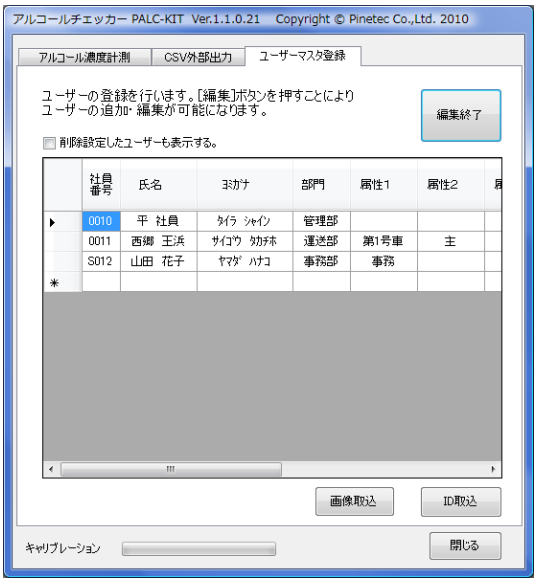


図 6.1　ユーザーマスタ登録

① 「ユーザーマスタ登録」タブを選択し、ユーザーマスタ登録画面を表示します。(図 6.1)

② ［編集］ボタンをクリックし、編集モードに入ります。

③ 以下の各欄にユーザーの情報を入力します。
「社員番号」「氏名」「ヨミガナ」「部門」
「属性１」「属性２」「属性３」「備考」

「社員番号」「氏名」「ヨミガナ」「削除」は必須入力項目です。(「削除」欄が未入力の場合には「0」が自動的に入力されます。)

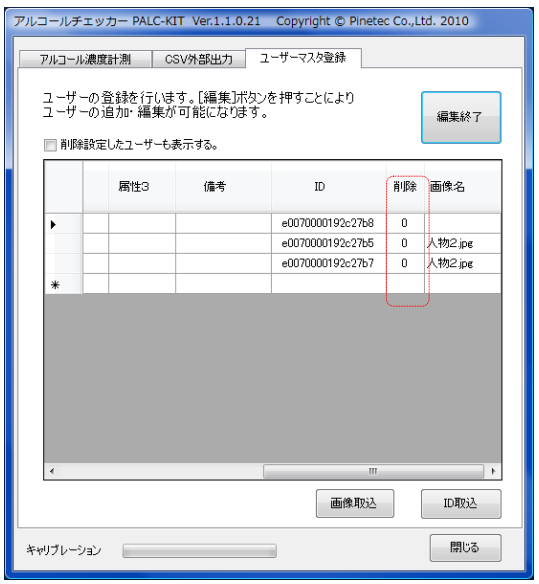


図 6.2　ID 読込

「属性１」~「属性３」は、お客様が任意の属性を定義して入力することができます。（例…担当車両、担当地区など）

④ 入力したユーザーと紐付けを行う ID カードを RFID センサー部に置き、［ID 取込］ボタンをクリックすることにより、カードから読み取られた ID 番号が ID 欄に表示されます。(図 6.2)

「ID」の値は重複することが許されません。

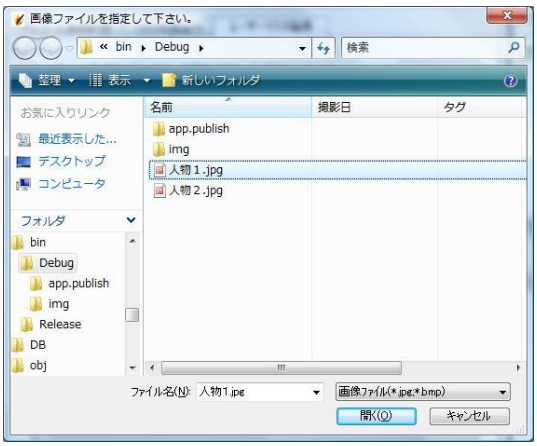


図 6.3　画像ファイルの指定

登録時に ID の重複エラーが表示される場合には、９．こんなときは（トラブルシューティング）を参照して下さい。

⑤ユーザーの写真を登録する場合は、［画像取込］ボタンをクリックし、画像取込ダイアログボックスから画像ファイルを指定します。
(図 6.3)

⑥［編集終了］ボタンをクリックすることにより入力した内容が保存されます。

６．２　編　集

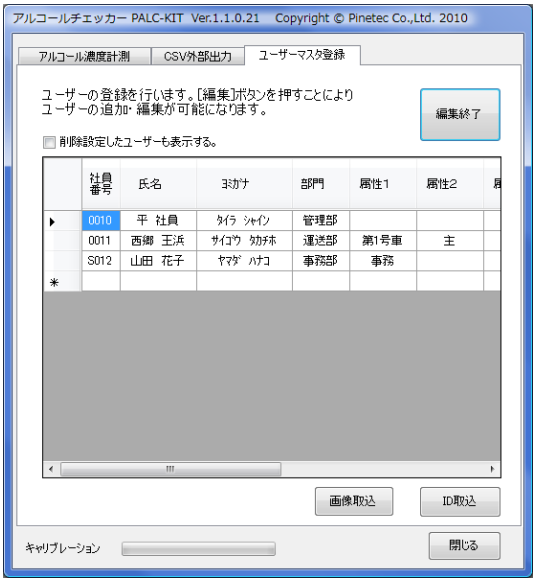


図 6.4　ユーザー編集画面

①「ユーザーマスタ登録」タブを選択し、ユーザーマスタ登録画面を表示します。
(図 6.4)

②［編集］ボタンをクリックし、編集モードに入ります。

③編集したい項目を直接編集します。

④［編集終了]ボタンをクリックすることにより入力した内容が保存されます。

６．３　削　除

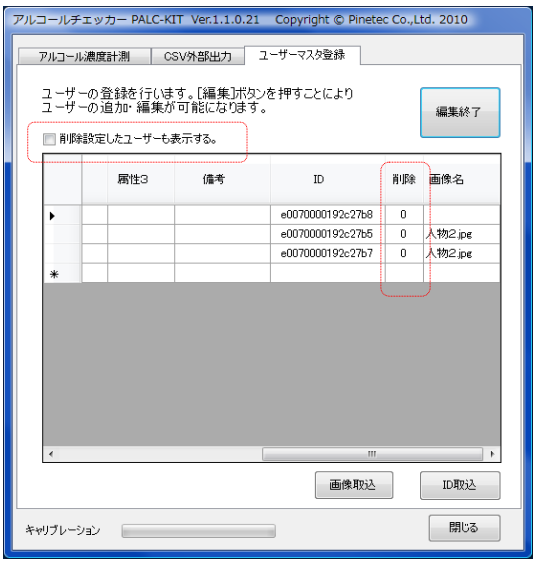


図 6.5　ユーザーの削除

一度ユーザーマスターに登録したユーザーは削除することができません。削除に該当する処理として、「削除」欄の値に「1」（半角数字）を設定して再登録することにより、通常のユーザーマスター一覧上には表示されなくなります。

削除設定されたユーザーを表示する場合には、「削除設定したユーザーも表示する」チェックボックスにチェックを入れることにより、一覧に表示されるようになります。

7．外部出力

PALC-KIT でアルコール濃度の測定した結果は、専用ソフトをインストールしたパソコン内のデータベースに保存されます。専用ソフトでは直近の 500 件の測定結果を画面表示可能ですが、それ以前の結果閲覧やデータの活用は CSV 外部出力機能により作成された CSV 形式のファイルを利用します。

出力された CSV ファイルは、Microsoft EXCEL などにより閲覧や集計することが可能です。CSV 外部出力の方法と Microsoft EXCEL による閲覧方法の手順を以下に示します。

7．1　CSV 外部出力方法

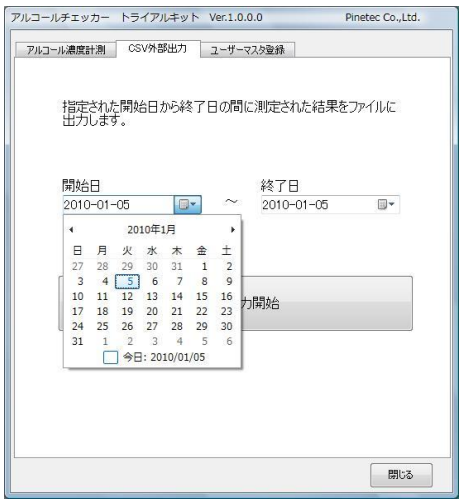


図 7.1　CSV 外部出力

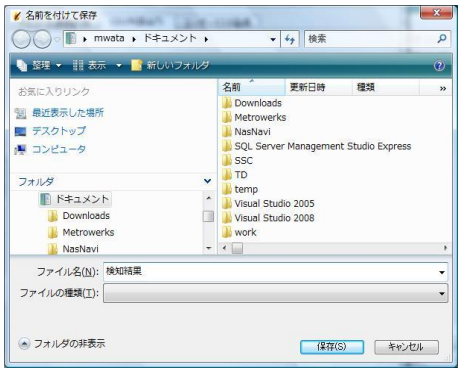


図 7.2　ファイル名の指定

図 7.3　CSV ファイル出力結果

①「CSV 外部出力」タブを選択し、CSV 外部出力画面を表示します。

②CSV ファイルに出力したい測定結果の開始日と終了日を入力します。▼をクリックすることによりカレンダーが表示されますので、そこから日付を選択することも可能です。(図 7.1)

③［ファイル出力開始］ボタンをクリックします。

④「名前をつけて保存」画面が表示されたら保存したいファイル名を入力します。拡張子「.CSV」は自動的に付加されます。(図 7.2)

⑤出力が完了すると、メッセージが表示されます。
(図 7.3)CSV ファイルには以下の項目が出力されます。

- 測定日時
- 社員番号
- 氏名
- 濃度
- 判定
- ﾖﾐｶﾞﾅ
- 部門
- ｵﾌﾟｼｮﾝ　（未使用）
- 属性 1～属性 3
- 備考

７．２　Microsoft EXCEL による閲覧

Microsoft EXCEL（以下 EXCEL）を起動し、メニューー開くから、7.1　CSV 外部出力方法で保存した CSV ファイルを指定することにより閲覧できます。必要に応じて EXCEL の機能を利用して並べ替え、編集および印刷による保存帳票の作成処理を行います。

EXCELから紙に印刷して保存する他にもPDF形式で出力することにより電子的に保存することが可能です。

8．勤怠モード

勤怠モードとは、ID カードをかざして個人認証した後に、アルコール検知を行わず、ID カードを取り除く事により、氏名、日時を自動記録する機能です。この機能を利用して簡易な勤怠システムとして利用することも可能です。

	社員番号	氏名	部門	属性1	属性2	属性3
	0001	平 道真	総務部		主任	
	0010	平 社員	運送部	第1号車	副担当	
	0011	西郷 王浜	運送部	第1号車	主担当	@B
	F001	山田 スミ子	庶務課		専務	
▶	M013	社 長	管理部		社長	@A
	S012	山田 花子	事務部	事務	係長	@A

図 8.1　属性３の設定

勤怠モードは、ユーザー毎に設定します。設定方法はユーザー登録の「属性３」の内容に先頭が「@（半角アットマーク）」で始まる文字列を定義するだけです。（図 8.1）

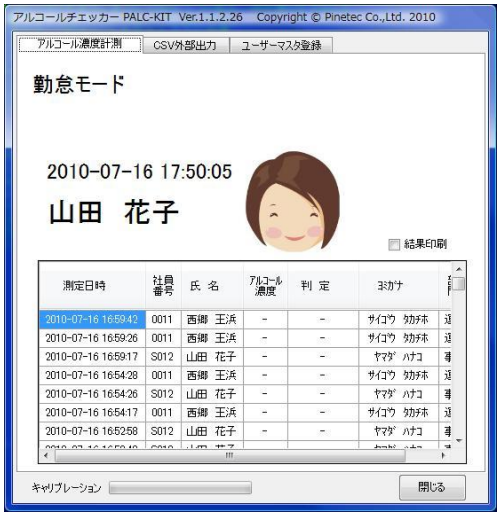


図 8.2　勤怠モード

「属性３」で勤怠モードに設定されたユーザー（社員）は、ID カードをかざす事により、アルコール検知を実行することなしに、氏名と出勤または退勤日時を記録することができます。（図 8.2）

集計については、CSV 外部出力されたファイルを Microsoft EXCEL 等のソフトウェアに取込み、自由に集計や印刷することが可能です。（図 8.3）

「属性３」の文字列に、勤務パターンを定義することにより、マクロによる自動集計への応用が可能となります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	測定日時	社員番号	氏名	濃度	判定	ﾖﾐｶﾅ	部門	ｵﾌﾟｼｮﾝ	属性1	属性2	属性3	備考
2	2010/7/16 7:54	S011	西郷 王浜	-	-	ｻｲｺﾞｳ ｶｶﾁﾎ	運送部	@B	第1号車	主担当	@B	
3	2010/7/16 7:55	S012	山田 花子	-	-	ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ	事務部	@A	事務	係長	@A	
4	2010/7/16 17:54	S011	西郷 王浜	-	-	ｻｲｺﾞｳ ｶｶﾁﾎ	運送部	@B	第1号車	主担当	@B	
5	2010/7/16 18:09	S012	山田 花子	-	-	ﾔﾏﾀﾞ ﾊﾅｺ	事務部	@A	事務	係長	@A	

図 8.3　CSV 外部出力した内容を EXCEL で表示した例

９．メンテナンス

９．１　データのバックアップ

PALC-KIT でアルコール測定した結果は、専用ソフトをインストールしたパソコン内のデータベースに保存されます。不測の事態に備え、データベースのバックアップを定期的に行って下さい。データベースのバックアップ手順を以下に示します。

マイコンピューターやエクスプローラーを開き、PALC-KIT のインストール先のフォルダを開きます。インストール時に変更をしなければパスは

C:¥PALCKIT1.1

になります。このフォルダ直下に存在する『palckit.sqlite』ファイルがデータベースファイルになりますので、このファイルをバックアップしたい媒体にコピーして下さい。

誤って『palckit.sqlite』ファイルを削除してしまうと、データーは完全に失われてしまい、復旧が不可能になります。

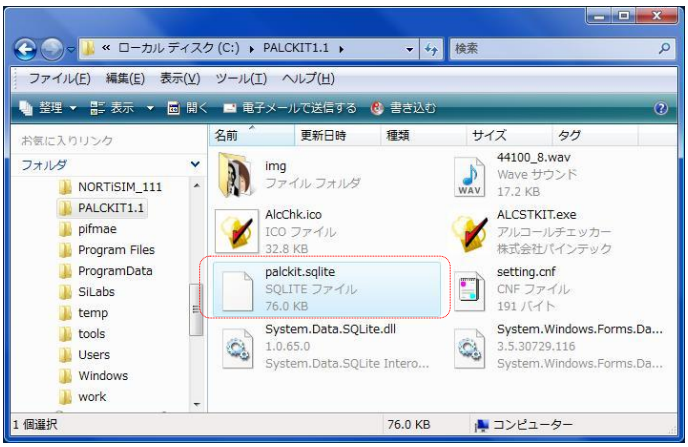


図 9.1　バックアップの対処ファイル

１０．こんなときは　（トラブルシューティング）

現　　象	原　　因	対　　応
ソフトウェアを起動すると『COM ポートオープンエラーが発生しました。COM ポートの設定が誤っているか、センサーが接続されていません。（略）』と表示され、ソフトウェアが終了してしまう。	PALC-KIT がパソコンに接続されていません。	PALC-KIT の USB 端子をパソコンに差し込んでからソフトウェアを起動して下さい。（USB 端子を差し込んでから PALC-KIT が認識されるまでに少し時間がかかる場合があります。）
	PALC-KIT が認識されていない。	OS のコントロールパネルー管理ツールーコンピューターの管理からデバイスマネージャを実行し、ポート（COM と LPT）で、「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge(COM**x**)」が表示されていることを確認します。
	COM ポートの設定が誤っている。	COM ポートがデバイスマネジャーで認識されている場合、COM ポートの設定が誤っていることが考えられます。COM ポートの設定は自動で識別していますが、自動識別に失敗した場合には設定ファイル「**setting.cnf**」を開き、『<ComNm>COM **x** </ComNm>』の x の部分にデバイスマネジャで表示された COM x の x の数字を書き込んで保存し、再度ソフトウェアを起動して下さい。
ソフトウェアを起動すると『アルコールセンサーの校正期限が過ぎています。センサーの校正をお勧めします。』と表示される。	アルコールセンサーの寿命です。	正確な測定を行うために、定期的にセンサーの校正を行って下さい。詳しくは、販売店にお問い合わせ下さい
測定しても結果が『無効』となってしまう。	暖気が十分でない。	正しい計測を行うため、測定される１０分前にはパソコンに接続して、ソフトウェアを起動しておく必要があります。 また、実際の測定に際して２，３回のテスト測定を実施しておくと安定した測定が行えます。
	アルコールセンサーの寿命	何度測定しても測定結果が無効になる場合にはアルコールセンサーの寿命が考えられます。お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。

※背景色が黄色の対応は、コンピューターの知識のある方が行って下さい。

現　　象	原　　因	対　　応
「結果印刷」をチェックしているのに印刷されない。	「通常使うプリンタ」が他のプリンタに設定されている。	OS のコントロールパネループリンタで印刷したいプリンタを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」を選択して下さい。
	「通常使うプリンタ」で設定されているプリンタの電源がオフかオフラインになっている。	プリンタの電源を確認し、電源が入っている場合には、OS のコントロールパネループリンタで印刷したいプリンタを右クリックし、「プリンタをオンラインで使用する」を選択して下さい。
履歴一覧表示領域に過去の測定結果が表示されなくなった。	データベースファイル「palckit.sqlite」が存在しないか壊れている可能性があります。また、ファイルが存在しない場合には自動作成されますが内容が空（サイズが０）の場合もあります。	データベースファイル「palckit.sqlite」のサイズが０バイトの場合は、バックアップされた「palckit.sqlite」をリストアし、専用ソフトウェアを再起動して下さい。 ※バックアップを実施している場合のみ有効。 ※バックアップ実施日以降のデータは復旧することはできません。
	専用ソフトウェアのバージョンアップによりデータベースの形式が一致していないことが考えられます。	専用ソフトウェアのバージョンをお確かめのうえ、販売店にお問い合わせください。
ユーザーマスタ登録で、[編集終了]ボタンを押すと「ID が重複しています。」というメッセージが表示される。	「ID」は重複することが許されません。	・誤って既存の ID カードを登録しようとした場合は、新規の ID カードで登録し直してください。
		・ID カードの使いまわしをするため、別のユーザーに既存の ID カードの番号を割り当てる場合には、編集作業を 2 回に分けて行います。初めにこれまでのユーザーの ID 番号を一度任意の番号に変更し、その後に新しいユーザーに既存 ID カードの番号を割り当てます。 【注意】測定データは、ID カード番号に対して保存されるため、これまでのユーザーの測定データはすべて新しいユーザーのデータとして認識されるようになります。

PINETEC

株式会社パインテック

TEL 0258-86-7073
FAX 0258-84-3365
EMAIL info@pinetec.biz
URL http://pinetec.biz